

早春の「大日岳」へ行く

2002年春山情報10号 4 / 27

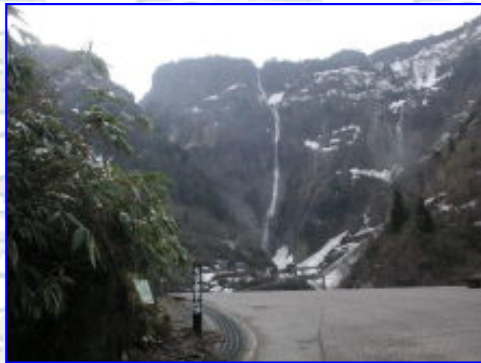
ゴールデンウィークは、最新情報のためにも、「人気のスポット」をさけて、このシーズンの開通は、三年振りという、「称名滝」への称名道路から「大日岳」へ行ってきました。

・・・この時期・・・4月・・・に登ったのは初めてですが、・・・スキーヤーにとって別天地ですね。・・・登山は、・・・昨年登ったのですが、同様に快適でした。・・・登りやすいこと限りなし、・・・スキーヤーがスキー靴で頂上を目指すほどですから、比較的安全だと言えます。・・・私は、12本アイゼンとピッケルで登りましたが、・・・広々とした雪渓は、現在春山としては最高のコンディションです。スキー、ボードにはもってこいの条件ですね。・・・私も滑りたかったです。・・・「立山」よりは・・・大日平小屋には管理人さんが作業していますので、頼めば宿泊OKだと思います。・・・連休後半・・・穴場の「大日岳」へ是非どうぞ・・・

今日の日程

桂台のゲート	7:00	-	称名滝駐車場	7:10	-	大日岳登山口	7:30	-	牛首乗越	8:45	-
大日平山荘	10:15	-	大日岳	13:00							
-	大日平山荘	14:30	-	牛首乗越	15:30	-	称名滝	16:30	-	桂台のゲート	17:00

天気予報が100%の晴れとはいえ、山はこんなものか、ゲートが7時まで開門せず、予定より1時間待機。次第にガスがかかってきた。・・・称名滝もかろうじて見えた。・・・さすがに雪解けは早いとはいえ、称名坂はの下部と牛首のコル付近では雪渓がびっしり。・・・特に上部の雪渓は十分に注意したい。



牛首の上部より称名の全景。・・・さすがに新緑にはまだまだ。
牛首より目指す、「大日岳」を望む。



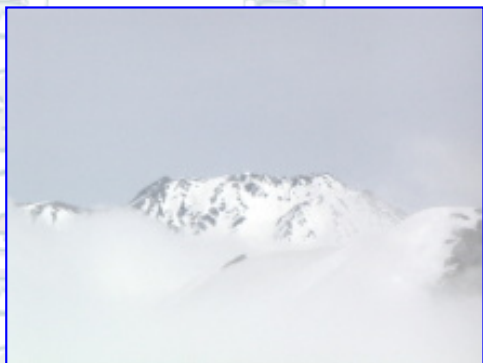
あまりに天気がよくて、写真が今ひとつである。・・・春山のデジタルカメラの撮影は難しい
・・・誰か「雪山」のデジタルカメラの撮影のポイントを教えてください。・・・
中・・・大日平小屋方面から天狗山・・・「立山」を望む。
右は、次第にガスにつつまれた、「大日岳」・・・このあとほとんど視界がなくなってしまった。



もくもくと登りつめたら、急にガスの中に「雷鳥」の音が、・・・望遠で撮影したが、バックが雪渓なので・・・



頂上への稜線に着いたら、時々ガスが切れてきた。・・・ひよっとしたら晴れるかも・・・
しかし、考えが甘かった、見えたのはこの数枚の写真だけ。
光がかぶっていますが、この写真しかないの、あしからず・・・



本日、この方面、唯一の同行のグループ。
4人の颯爽と滑るスキーは、大変気持ちよさそうでした。・・・
やはり、この時期の大日岳頂上からのロングコースは、登るのが大変そうですが、「滑る価値」がありそうです。



頂上は、風が強く・・・寒くて、ほとんど周りが見えない状態でしたが、ちょっと降りると・・・ご覧の通り、大変穏やかな天気になりました。・・・

真ん中の写真は、称名溪谷から「鋤崎山」を望む。

最後に、この後急激にガスで一切見えなくなった「大日平」の全景。

・・・大日平は、午後の帰りはガスった時は、ルートがわからなくなるので充分注意しよう。

